

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	はくほう会医療専門学校赤穂校
設置者名	医療法人 伯鳳会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門	理学療法学科	夜・通信	92	9単位	
	作業療法学科	夜・通信	91	9単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校ホームページ上にて公表 http://hakuho-isen.ac.jp/ako/disclosure/
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	はくほう会医療専門学校赤穂校
設置者名	医療法人 伯鳳会

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校運営委員会
役割	<p>学校運営委員会は、主として次の事項を審議し、運営教育活動及び学校運営等の 質の保証と向上に継続的に努めるよう活用する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 学校の規定、教育方針・教育計画及び教育内容に関すること 2) 単位認定に関すること 3) 職員に関すること 4) 学生募集及び入学試験に関すること 5) 入学及び卒業に関すること 6) 学生の不正行為に対する処分に関すること 7) その他学校の管理及び運営に関して必要と認められること <p>別紙：学校運営委員会 規程</p>

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
はくほう会医療専門学校 明石校 学校長	2022年4月～ 2024年3月	同法人看護学校
はくほう会デイサービス センター 施設長	2022年4月～ 2024年3月	卒業生
デイサービスセンター いきしま 施設長	2022年4月～ 2024年3月	実習施設
(備考)		

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	はくほう会医療専門学校赤穂校
設置者名	医療法人 伯鳳会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>教育理念に基づいた教育目標を設定し、各授業科目のシラバスを作成している。シラバスには授業科目の概要・目的・目標・使用テキスト・成績評価方法・受講にあたっての注意事項を記載している。</p> <p>シラバスは前期科目については開始前の 3 月までに、後期科目については開始前の 8 月までに作成し各学生に配布している。</p> <p>また、学校ホームページ上での公表をおこなう。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>各学生に配布およびホームページ上での公表</p> <p>http://hakuho-isen.ac.jp/ako/disclosure/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価については学則第 11 条および学校履修規程に定めており、試験の方法は、論述(記述)試験、口頭試験、実技試験、シュミレーションテスト、レポート、作品提出等とする。</p> <p>定期試験は各期毎に総括的評価として実施し、専門教科の演習等の実技を伴うものは、授業時間内に総括的評価をおこない、実技試験を実施している。実習にあつては実習の成績により行う。</p> <p>前期試験、後期試験およびすべての授業科目(演習を含む)を 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。また、学籍簿への記載は以下の基準で評定を行う</p> <p>A (100~80点) B (79~70点) C (69~60点)</p> <p>D (59点以下) N (単位認定)</p> <p>ただし、その科目の出席時数が授業時数の 3 分の 2 に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価において、すべての授業科目（演習を含む）を100点満点とし、60点以上を合格とする。 学科、学年毎に成績分布状表を作成し、分布状況を把握している。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>学校ホームページ上で成績分布状況を公表 http://hakuho-isen.ac.jp/ako/disclosure/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>下記の卒業認定に関する方針（ディプロマポリシー）を定め、ホームページ上で公表している。 また、履修すべき全教科と臨床実習の単位をすべて取得している者について、卒業判定会議を開催し、下記方針に沿って審議・判定をおこない、学校長が認定する。</p> <p>1. 知識・理解 (1)理学療法士及び作業療法士として、臨床において必要となる最低限の知識、技能等を有している。 (2)修得した知識体系や技能等を対象者へ提供するとともに社会貢献へ寄与することを理解できている。</p> <p>2. 汎用的技能 (1)他者との良好なコミュニケーションを保つことができる。 (2)対象者の立場に立って、寄り添う気持ちをもって接することができる。 (3)対象者から得られた情報を課題解決に向けて論理的に分析することができる。 (4)対象者にとっての問題に対して解決に向けて適切な取り組みを行うことができる。</p> <p>3. 態度・志向性 (1)自らを律して行動する姿勢を持っている。 (2)自ら進んで学ぶ姿勢を持っている。 (3)協調・協働して行動することができる。 (4)自己の良心と社会規範に則り、誠実に物事に取り組むことができる。 (5)社会の一員としての自覚を持ち、主体的に行動することができる。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>学校ホームページ上でディプロマポリシーについて公表 http://hakuho-isen.ac.jp/ako/disclosure/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	はくほう会医療専門学校赤穂校
設置者名	医療法人 伯鳳会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://hakuho-isen.ac.jp/ako/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	http://hakuho-isen.ac.jp/ako/disclosure/
財産目録	http://hakuho-isen.ac.jp/ako/disclosure/
事業報告書	http://hakuho-isen.ac.jp/ako/disclosure/
監事による監査報告（書）	http://hakuho-isen.ac.jp/ako/disclosure/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		医療専門課程	理学療法学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3185/103 単位時間/単位	2190/83 単位時間 /単位	240/9 単位時間 /単位	935/21 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		76人	0人	5人	20人	25人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 担当教員が授業目的を達成できるよう授業内容・方法などの授業計画（シラバス）を作成し、実施する。
成績評価の基準・方法
（概要） ・各授業科目で授業計画（シラバス）に沿って成績評価（論述（記述）試験、口頭試験、実技試験、シュミレーションテスト、レポート、作品提出等）を実施している。 ・成績評価については全ての授業科目（演習を含む）を100点満点とし、60点以上を合格とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 履修すべき全教科と臨床実習の単位をすべて取得している者について、卒業判定会議を経て学校長が認定する。
学修支援等
（概要） 1年次より担任制を取り入れ、学生それぞれに応じた指導を行う。 学習困難者に対し、二者面談または保護者を交えた三者面談を実施し学習支援を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
26人 (100%)	0人 (%)	24人 (92.3%)	2人 (7.7%)
(主な就職、業界等) 病院・診療所（整形外科）・介護老人保健施設等			
(就職指導内容) 就職説明会・履歴書添削・面接指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) 理学療法士国家試験受験資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
71人	8人	11.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更・成績不振・学校生活不適合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談を中心に学習指導や生活指導を行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	はくほう会医療専門学校赤穂校
設置者名	医療法人 伯鳳会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://hakuho-isen.ac.jp/ako/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	http://hakuho-isen.ac.jp/ako/disclosure/
財産目録	http://hakuho-isen.ac.jp/ako/disclosure/
事業報告書	http://hakuho-isen.ac.jp/ako/disclosure/
監事による監査報告（書）	http://hakuho-isen.ac.jp/ako/disclosure/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		資料専門課程	作業療法学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3175/102 単位時間/単位	1890/73 単位時間 /単位	480/17 単位時間 /単位	985/22 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		67人	0人	5人	24人	29人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 担当教員が授業目的を達成できるよう授業内容・方法などの授業計画（シラバス）を作成し、実施する。
成績評価の基準・方法
（概要） ・各授業科目で授業計画（シラバス）に沿って成績評価（論述（記述）試験、口頭試験、実技試験、シミュレーションテスト、レポート、作品提出等）を実施している。 ・成績評価については全ての授業科目（演習を含む）を100点満点とし、60点以上を合格とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 履修すべき全教科と臨床実習の単位をすべて取得している者について、卒業判定会議を経て学校長が認定する。
学修支援等
（概要） 1年次より担任制を取り入れ、学生それぞれに応じた指導を行う。 学習困難者に対し、二者面談または保護者を交えた三者面談を実施し学習支援を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13人 (100%)	0人 (%)	12人 (92.3%)	1人 (7.7%)
(主な就職、業界等) 病院・介護老人保健施設・障害者支援施設			
(就職指導内容) 就職説明会・履歴書添削・面接指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) 作業療法士国家試験受験資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
56人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談を中心に学習指導や生活指導を行っている。		

学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理学療法学科	300000 円	600000 円	400000 円	
作業療法学科	300000 円	600000 円	400000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
伯鳳会奨学金				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://hakuho-isen.ac.jp/ako/disclosure/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 自己評価の結果に基づき学校関係者評価の実施とその結果を公表する。 (具体的な評価項目) ①教育理念・教育目的②教育目標③教育課程経営④教授・学習・評価過程⑤経営・管理過程⑥入学⑦卒業・就職・進学⑧地域社会・国際交流⑨研究に基づいた評価項目による評価を行う。 (評価委員会の構成) 教育に関する有識者・卒業生・専門分野委員から1名以上を選出し校長が委嘱、3名以上の委員の参加による学校評価を行う。 (評価結果の活用方法) 学校関係者評価の結果を公表し、評価結果に基づき学校長のもと次年度からの学校運営体制の改善を図る。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
はくほう会医療専門学校明石校 学校長	2022年4月1日～ 2024年3月31日	教育に関する有識者
はくほう会デイサービスセンター 施設長	2022年4月1日～ 2024年3月31日	卒業生
デイサービスセンターいきしま 施設長	2022年4月1日～ 2024年3月31日	専門分野委員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://hakuho-isen.ac.jp/ako/disclosure/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		
一般社団法人リハビリテーション教育評価機構		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	はくほう会医療専門学校赤穂校
設置者名	医療法人 伯鳳会

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		13人	13人	13人
内 訳	第Ⅰ区分	一人	一人	
	第Ⅱ区分	一人	一人	
	第Ⅲ区分	一人	一人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				13人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	2人	人	人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	2人	人	人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。